



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

## 生成 AI を活用した「運転アドバイスプラットフォーム」を開発

2025年11月28日

MS&ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、グループ会社の Aioi R&D Lab - Oxford（CEO：池上 淳一、以下「R&D Lab」）、AI 技術開発をグローバルな体制で実現する株式会社 Archaic（以下「Archaic」）とともに、車両の走行データを基に生成 AI が安全運転に向けたアドバイスをドライバーごとに作成する「運転アドバイスプラットフォーム」（以下「本システム」）を開発し、2025 年 11 月から東海東京証券株式会社（以下「東海東京証券」）と共同で実証実験を開始します。

### 1. 背景

近年、交通事故の発生件数は減少しているものの、ここ数年は横ばい傾向<sup>※1</sup>にあり、交通事故削減に向けた安全運転の促進が強く求められています。

当社は、運転者一人ひとりの運転行動を的確に把握し、適切かつ多様なアドバイスを提供することが更なる事故削減につながると考え、テレマティクス自動車保険において、運転特性に応じた改善点をアドバイスする「運転診断レポート」<sup>※2</sup>を提供しています。

今般、安全運転に対する意識をお客さまに持ち続けていただくことで事故削減に貢献すべく、ドライバーに提供するアドバイスの更なる高度化を目指し、当社と R&D Lab、Archaic は本システムを開発しました。

また、当社のテレマティクス自動車保険で提供している「安全運転支援に関する各種サービス」や「安全運転コンサルティングサービス」などを通じて、従業員の安全運転教育に積極的に取り組んでいる東海東京証券と共同で、本システムを活用した実証実験を開始することとしました。

※1 内閣府「令和 7 年版交通安全白書 特集 通学路における交通安全の確保について」

※2 お客さまの運転挙動や運転傾向に基づいたアドバイスを記載したレポート

### 2. 運転アドバイスプラットフォームの概要

当社が提供する本システムは、車両の走行データから得られた特徴を基に、生成 AI を活用しドライバーに対する運転アドバイスを出力するプラットフォームです。

利用データ	当社のテレマティクス自動車保険で蓄積した運転挙動データと、テレマティクス自動車保険で活用しているデータベース化された 2,000 以上の運転アドバイスを使用
アドバイスの内容	運転挙動に加え、時間帯、道路種別、走行距離、平日／休日なども考慮し、状況に応じたきめ細やかな運転アドバイスを生成
表現の柔軟さ	生成 AI の柔軟な文章生成能力を活用することで、より多様な種類でのアドバイスの出力や、優しい／厳しいなどドライバーの好みに合わせた言い回しの設定が可能

**[New!]** 特に危険だった運転に関する「危険運転アドバイス」を発生地点とともに提示

位置情報を元に自動で周辺地図を表示

危険挙動が検知された地点を表示

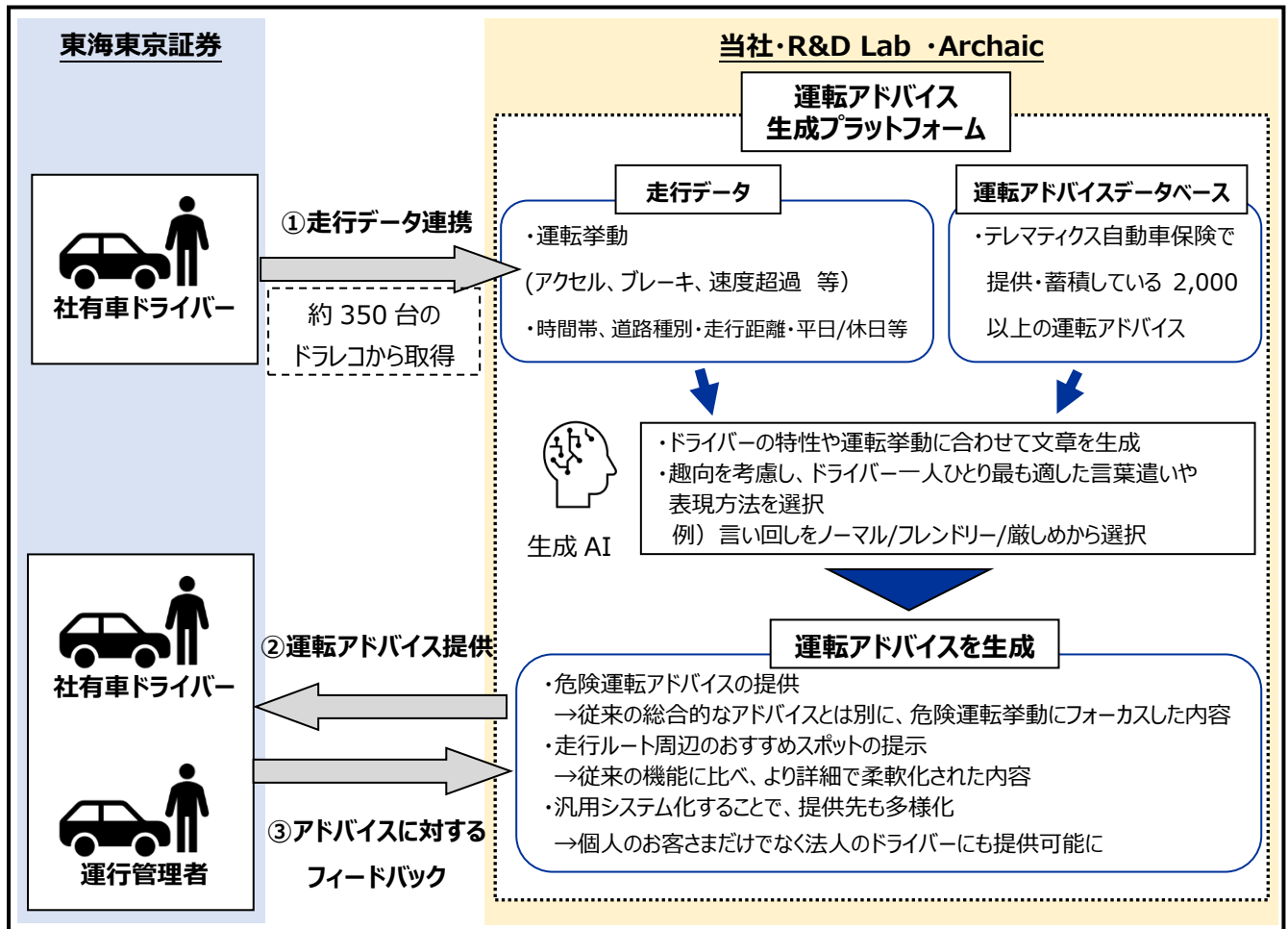


周辺状況などを考慮したアドバイス

12 月 20 日午前 11 時ごろ、急ブレーキが検出されました。周辺 500m 以内に病院が 2 つ、学校が 1 つあり、交通量が多い可能性があります。急ブレーキは乗員の安全を脅かし、後続車両との衝突リスクも高めます。また、車両への負担も大きくなります。周囲の状況をよく観察し、特に病院や学校付近では注意深く運転しましょう。・・・

### 3. 実証実験の概要

実証実験は2025年11月から2026年3月の期間で実施し、東海東京証券の社有車に装着されている当社のドラレコから得られる走行データを用い、本システムから、ドライバーごとの運転アドバイスを月次で生成して東海東京証券に提供します。東海東京証券では、ドライバー及び運行管理者がアドバイスの内容を確認し、改善点やアドバイスによる実際の効果等を確認し、ユーザー視点で評価します。その評価結果をもとに、当社、R&D Lab、Archaic がAI アルゴリズムを調整し、生成するアドバイスの高度化を図ります。



### 4. 今後の展開

当社は、Archaic とともに、2026年12月までに本システムの企業への導入を目指し、今後も複数のPoCを実施し、システムの改善に取り組んでいきます。並行して、ユーザーにとってよりわかりやすい運転アドバイスの生成に向けて、文章だけでなく画像なども活用したアドバイスの自動生成の仕組みなど、更なる高度化を目指した研究開発にも取り組んでいきます。

また、当社のテレマティクス自動車保険への導入も視野に入れ、保険サービスの一層の向上を図ります。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

